



学校だより

樟蔭の丘から



令和8年4月16日
文責：校長 石原 玉絵

ご挨拶

4月に、宇美南中学校から、ここ太宰府西中学校に赴任して参りました、校長の石原玉絵です。太宰府西中学校には平成28年4月から令和2年3月まで4年間在籍しており、お世話になった保護者の方や地域の方もたくさんいらっしゃいます。赴任式や入学式では、懐かしい方々にお声をかけていただき、大変ありがたく、また心強く感じました。創立42年目の太宰府西中学校の伝統を受け継ぎながら、さらに充実・発展させることができるよう、精一杯尽力いたします。この学校だより「樟蔭の丘から」は、太宰府西中学校のシンボルでもある大樟にちなみ、学校の様子などを保護者や地域の皆さまと共有できればと思っております。どうぞよろしくお願ひします。



赴任式・始業式

3月24日に離任された原校長先生をはじめとする9名の先生方、本校のためにご尽力いただき、本当にありがとうございました。

本年度、新たに11名の先生をお迎えし、令和8年度がスタートしました。

始業式では、私から、令和8年度を気持ちよくスタートし、成長する1年にするために、次の3つのポイントを生徒に伝えました。

1つは、自分から挨拶すること、2つはなりたい自分になるための目標を立てること、3つは、立てた目標に向かってあきらめず前向きに取り組むこと、の3点です。

新しい環境の中で不安な気持ちもあると思いますが、挨拶を交わすことで笑顔と安心感が生まれます。挨拶で心をかよわせ、互いの個性を認め合いながらより良い人間関係を作っていくってほしいと思います。



始業式の様子

なりたい自分になるために目標を立てることについては、入学式でも新入生に伝えましたが、目的地のない船はどこにもたどり着くことはできません。「部活動を頑張る自分」「人にやさしくする自分」「苦手な教科を克服する自分」どんな自分でもかまいません。なりたい自分を思い描くことで目指す方向が見えてきます。そして、その姿を目指して、たとえうまくいかないことがあってもあきらめず、何度でも前向きにチャレンジしてほしいと願っています。その姿勢が自分自身を強くし、これからの予測不能な社会を生きていく力へとつながっていきます。

これから始まる令和8年度が子どもたちにとって成長の1年になるよう、職員一同、しっかりサポートしていきます。

*離任された先生方

*赴任された先生方

第42回入学式

4月9日(木)、第42回入学式が行われ、159名の新1年生が入学してきました。新入生誓いの言葉では、代表生徒が「コロナ禍で小学校の入学式を経験できず、こうして仲間と一緒に入学式という場に立てたことの尊さを感じている。これから始まる中学校生活を、仲間と支え合い、励まし合いながら一步一步前へ進んできたい。」と立派に誓ってくれました。

1年生159名が入学し、2年生170名、3年生184名、計513名でいよいよ令和8年度の太宰府西中学校が船出します。今後とも、保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援を、どうぞよろしくお願ひします。



「新入生誓いの言葉」の様子